

しょうばら市議会だより

～ 議会報告会でいただいた意見などをお知らせします～

号外：平成 24 年 9 月 20 日発行

庄原市議会では、議会基本条例に基づき議会報告会を実施しました。

概要は 8 月 20 日発行のしょうばら市議会だより第 31 号に掲載しておりますが、会場から寄せられた意見等について今回抜粋してお知らせします。

議会報告会は、次の順序で進められました。

1、議会報告

議会活動報告

- ・平成 24 年度予算等審議状況について
 - ・議員定数について
 - ・庄原市と環境ベンチャー企業（株）ジュオン）との共同事業について
- 報告についての質疑応答

2、意見交換等

（行政・議会運営に関する意見・要望等）

議会報告会でいただいた意見・要望等については、今後の議会運営に生かしていきます。

地域	地区	開催日	会場	参加者数(人)
庄原	庄原	7月13日	庄原市民会館	34
	高	7月17日	高自治振興センター	16
	本村	7月10日	本村自治振興センター	12
	峰田	7月12日	峰田自治振興センター	15
	敷信	7月10日	敷信地区民ふれあい広場	15
	東	7月5日	東自治振興センター	35
	山内	7月20日	山内自治振興センター	21
	北	7月2日	北自治振興センター	28
西城	西城	7月6日	西城自治振興センター	17
	八銚	7月10日	八銚自治振興センター	15
東城	帝釈	7月6日	帝釈自治振興センター	29
	小奴可	7月4日	小奴可自治振興センター	9
	田森	7月11日	田森自治振興センター	13
	八幡	7月5日	八幡自治振興センター	9
	東城	7月12日	庄原市役所東城支所	16
	久代	7月3日	久代自治振興センター	22
	新坂	7月19日	新坂自治振興センター	16
口和	口和	7月6日	口和自治振興センター	21
高野	高野	7月4日	上高自治振興センター	9
比和	比和	7月19日	比和自治振興センター	10
総領	総領	7月6日	総領自治振興センター	7
合計			21会場	369人



口和自治振興センター（口和町）



山内自治振興センター（山内町）

1 報告内容に対する質疑応答

平成24年度予算等審議 状況について

問 職員給与の削減案について、市長は提案までに職員労働組合と協議・妥結している。地域や財政の状況などを考慮すれば、否決は理解できない。

答 職員労働組合との妥結の事実
は重い、組合との協議に入る
ときにはすでに削減を見込んだ
予算書ができていたこと、本市
の職員人件費は県内で一番低位
にあることから、多数決に
より否決となった。

問 三楽荘の事業に関する備品購入費の減額修正について、どのような議論をされたのか。行うべき手続きをやらなかったことがいけなかったのか。

答 2年間直営で運営し、その間に協議・検討すると説明しておきながら、それもせず急に予算計上されたことなどに議会は反対した。

問 付帯決議の5項目の内容について、もう少しわかりやすく説明をしていただきたい。

答 適切な事務執行をされるよう、予算審査特別委員会として、平成24年度一般会計予算に関する付帯決議5項目をつけた。内容は次のとおりである。

予算案と予算に関連する条例等については、同時に提案するよう努めること。

市民の納税意識の高揚を図り、税負担の公平性を期すため、課税客体の完全捕捉と収納率の向上に一層努めること。

土地借上げ等の「長期継続契約」に関して、必要な債務負担行為がされていないことが明らかになったため、適正な事務処理に一層の心配りをすること。

指定管理者制度において、管理業務費(委託料)の基準額の算定方法の考え方を明確にし、透明性の確保に努めること。
東城まちなみ整備事業における2つの委託事業については、事前によく説明して議会や地域の理解を得て実施すること。

問 特産農産物試験栽培事業の予算について、なぜ否決したのか。

答 庄原トマトを地域ブランドとして確立するための予算について、トマト栽培はすでに実践段階であり、これ以上この施設に経費をかけるべきでないことなどから、3月定例会では全額を削減した。



敷信自治振興センター（板橋町）

議員定数について

問 議員定数5減は当然である。自治振興センターなど、地域の組織がしっかりしてくれば、議員はいらなくなるのではないか。

答 自治振興区の役割と、市や議員の果たすべき役割をしっかりと分けていく必要があると感じている。

問 議員定数の削減は、チェック機能の低下につながるのではないか。

答 定数削減による影響は、議員の力量で補っていききたい。

問 議員定数の削減は、合併時からの考え方だったのか。

答 そうではない。合併当初の議員数は33人であったが、2度目の改選時に25人とした。そして、今回20人としたものである。

庄原市と環境ベンチャー
企業（株ジュオン）との
共同事業について

問 2月から3月にかけて行われた、市長による説明会以降、新スポンサー候補はどうなっているのか。

答 6月定例会においても、6人が一般質問を行った。全事業調査の終了後、中国四国農政局と協議して、事業中止と補助金返還命令を出すとのことである。市長はあくまで、新しいスポンサーに期待をしているとの答弁だった。

問 この事業からは完全撤退するべきだ。後を引き継ぐスポンサー一名を、なぜ言えないのか。

答 6月定例会でも一般質問が集中したが、市長はバイオプラスチック製造技術の優れた会社とだけ、具体的には明らかにしていない。

問 株ジュオンとの共同事業について、議会の議決後の運営状況のチェックが不十分な結果ではないか。

答 株ジュオンとの共同事業については、不十分との指摘を甘んじて受けざるを得ない。議員個々では問題点を指摘していたが、議会としての組織的な対応は十分できていなかった。

問 本市と株ジュオンは共同事業をする関係であるので、本市にも相当の責任があると思うが、議会としての責任はどうか。

答 現在、市は相手方を告訴するとともに、第三者委員会による調査等を行っている。議会も常にこれらの状況報告を受けながら対応しており、議会内にも様々な意見があるが、現時点で責任について判断することは難しい。

問 議会だよりによると、株ジュオンとの共同事業について、引き続き調査を継続するとしているが、審議されていない。所管の委員会の継続審査事項として調査すべきである。

答 所管の委員会は、動きがあった場合には、常に報告をするよう申し入れている。また、議員全員協議会においても、直ちに報告するよう求めている。執行者から報告を聞くことも調査の一部だと考えている。

問 市が国に補助金を返還することになれば、市の税金を使うこととなる。市や議会の説明は、あまりにも他人事に聞こえる。

答 執行者は何とか補助金を返さなくてもいいように努力している。告訴をしたが、公判もまだ一度も開かれていない。市民の皆さんに迷惑をかけないよう努力したい。



峰田自治振興センター（峰田町）

2 議会へ対する意見・要望

皆さんからいただいた意見・要望等は次のとおりです。

一般会計予算の減額修正は、議会の権限の発揮と本気の審査の結果だと思う。市政が良い方向に向かうよう頑張れ。

議員定数が25人から20人となったが、財政面から見たときに、いろいろな面で改革が必要ではないか。広い意味での財政改革が必要である。それをまっちづくりに生かしてほしい。

(株)ジュオンの問題について、議員には多くの市民がついている。我々の代表の議員には大きな責任があり、責任を取るのには当たり前。どうも説明が他人事のように聞こえ、責任を感じていないように思える。

(株)ジュオン問題について、議会は調査を怠っているし、我々市民と同じ立場で執行者を追及すべきだ。

議会報告会の会場に、地元議員が一人もいないのは意味がない。報告内容もあまり重要なものがない。

議会報告会への出席者が、非常に少ないことに驚いた。次回はもう少し周知方法を考え、内容をアピールし、地域課題を多く取り入れてほしい。

議会報告会は、議員それぞれの個性を消している。面白くない。もっと個人的な意見が聞きたい。

地元議員とは何か。皆、市民が選んだ庄原市の議員だ。議会報告会などは2年前には考えられなかった。定数も20人に減らしたが、報酬はそのままだ。政務調査費もない。出前トークのように、いろんな議員を地域に呼びたい。

議員定数を削減する中で、政務調査費を出し、議員資質の向上を図ってほしい。議会機能を向上させ、政策提言できる議会になってほしい。

若者定住対策、企業誘致などの課題に対して、特別委員会をつくってでも取り組む必要があるのではないか。どうも議会の本気が感じられない。

インターネットで議会を中継できないか。録画映像を出すなら、もう少し早く出してほしい。

限界集落対策や、人口を増やす方策について、議会は取り組んでいるのか。小さな地域での取り組みに目を向けてほしい。

まちづくり基本条例と議会基本条例によって、議会はどう変わるべきと考えるか。

など、多くの意見・要望等をいただきました。



西城自治振興センター（西城町）

議会報告会でいただいた行政への意見・要望等については、執行機関へ連絡しています。
これは、議会は議事機関であり、事務の管理や執行は市長の権限であるためです。

今年度の議会報告会では、報告内容について説明がわかりにくかったという声や、わかりやすい資料を望む声が多くありました。

報告内容についてどのように説明するのか、内容設定後の資料の作成方法など、課題が残りました。

来年度も引き続き、議会報告会を開催することとしておりますが、今年度開催した議会報告会の反省を踏まえ、より充実した議会報告会となるよう努めてまいります。

多くの市民の皆さんのご来場をお待ちしております。

なお、議会報告会の内容を取りまとめたものは、各自治振興区へ送付してまいりますので、お立ち寄りください。

お問い合わせ先
庄原市議会事務局
電話 〇八二四 七三 一一六一